

北九州PCB処理事業所トラブル事象一覧（令和元年7月～12月）

| No. | 発生日時 | 発生場所 | 概要 | 対応状況 |
|-----|-----------------|---------------------------------|--|--|
| 1 | 7月25日 2時10分 | 2期2階 1系プラズマ ドラム缶受入 供給室 | プラズマ熔融処理のため基幹物流室より塗膜固形物入りのペール缶3缶が乗ったパレットを引出したところ、上下積みの2缶の間及び平積みの下部に少量の漏れを発見。 | <p>当該ペール缶2缶の中身を確認したところ、うち1缶の中身の一部が液状化し収縮した塗膜固形物の中から突き出た直径5mmの針金がポリエチレン袋を貫通し、そこから弱酸性の液が滲み出てペール缶を腐食させ、ピンホールを生成してパレット上に漏れたものであった。</p> <p>応急措置として、当該2缶の内容物を2重のポリエチレン袋に収納して缶底に吸着マットを敷いた新缶にそれぞれ詰替え、速やかに熔融処理した。また、長期保管により体積が変化する可能性がある廃棄物について調査したところ、塗膜固形物入りペール缶（118缶）があり、これらについて漏れ等の異常のないことを確認した上で缶底に吸着マットを敷いた後、7月末までに熔融処理した。</p> <p>対策として、搬入された塗膜固形物を前処理でペール缶に入れる際に吸着マットを敷くよう手順書を改訂し運用しており、その後の再発はない。</p> |
| 2 | 9月30日 10時00分 | 2期1階 運転廃棄物 投入室 | 基幹物流倉庫より払い出したパレット上のステンレス製ドラム缶6缶の内、1缶を移動したところ、その下部にタール状木酢液と思われる少量の漏れを発見。 | <p>当該ドラム缶の中身を確認したところ、木酢液ラインの使用済みポンプであり、ポンプに内包していた木酢液がポリエチレン袋の底に溜まり、ポンプの重みで袋が破損したため、液がドラム缶内に染み出して缶底部を腐食させ、ピンホールを生成してパレット上に漏れたものであった。</p> <p>応急措置として、パレット上とドラム缶内に溜まっていた液をふき取るとともに、使用済みポンプを別のドラム缶に移し替えて直ちにVTR処理した。また、液体を内包する可能性がある固体廃棄物について総点検を実施し、収納缶に漏洩・腐食がないことを確認した。</p> <p>対策として、液体を内包する可能性のある金属廃棄物は吸着マットを敷いたポリエチレン袋に収納すること、また、収納した廃棄物は追加のポリエチレン袋内袋として缶底に吸着マットを敷き詰め、缶内を樹脂コーティングしたステンレス製ドラム缶で保管することとした。また、これらの廃棄物の保管期間の上限を液体廃棄物と同様に6カ月に変更した。その後の再発はない。</p> |

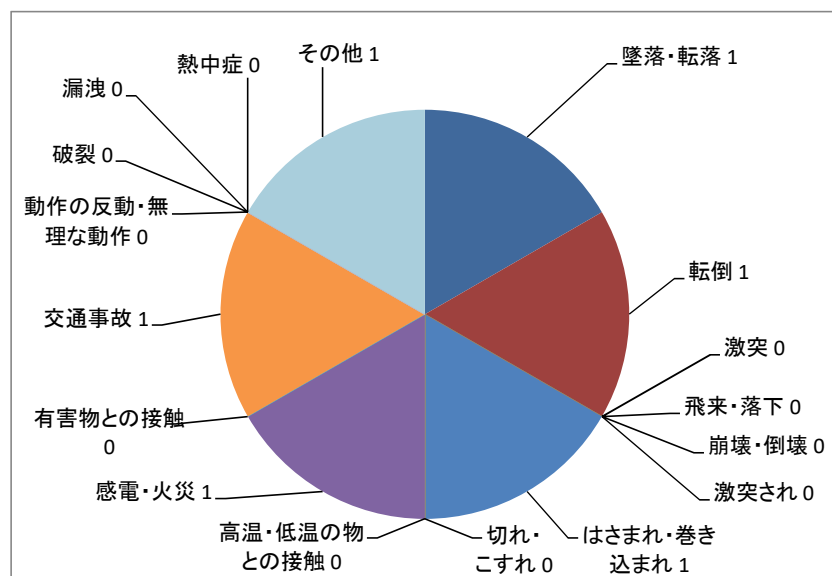
※「少量の漏れ」とは滲みやポタポタ程度の微量の漏洩をいう。

ヒヤリハット件数（平成31年1月～ 令和元年12月）

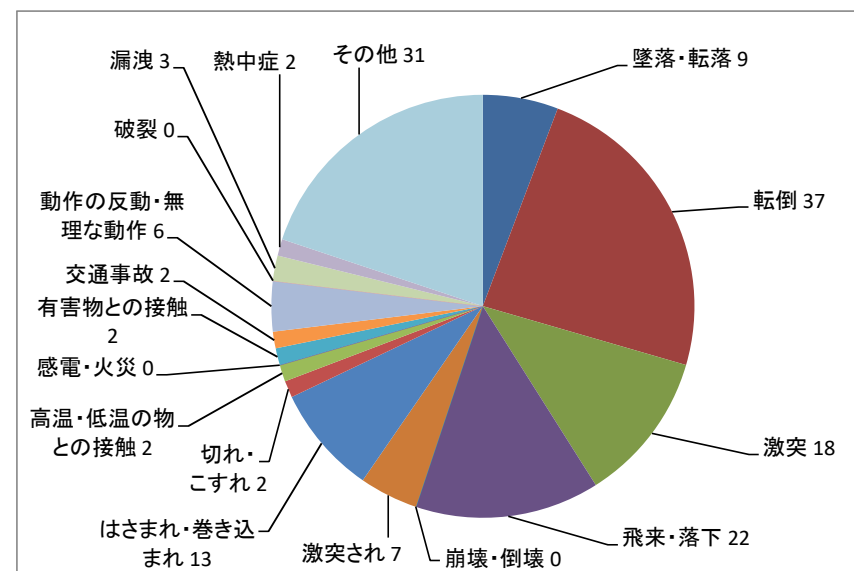
令和元年12月末現在

| 年 | H31 | | | | R1 | | | | | | | | 小計 |
|-----|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 月 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | |
| 実体験 | 0 | 0 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 6 |
| 仮想 | 14 | 15 | 10 | 12 | 16 | 12 | 12 | 14 | 12 | 12 | 13 | 14 | 156 |

”実体験”は、提案者が現場で体験してヒヤリ・ハットした事象であり、”仮想”は、提案者が現場で、もしかしたら発生するのではないかと考えた事象。



実体験ヒヤリハット



仮想ヒヤリハット